

# SOCIUS

No.19  
2024

[ソシアス]

仁愛女子短期大学 総合学務センター  
入学・地域支援課 地域連携室

# INDEX

## 1. はじめに

- ・地域社会との連携の展開、発展を願って……………重村幹夫 1

## 2. 公開講座

- ・染め物体験……………前田博子 2
- ・木を使った造形あそびに挑戦してみよう……………重村幹夫 3
- ・木製ロボットとプログラミングで遊ぼう！……………田中洋一 4
- ・光で楽しむおもちゃ工作……………香月 拓 5
- ・2024年度 幼稚園教諭・保育教諭等キャリアアップ研修……………中尾繁史、増田 翼 6
- ・福井の食を知る③「ふくい伝統野菜」～花らっきょう漬作り体験～…小林恭一 7
- ・Autumn English Camp – 自然の中で英語を学ぼう！ – ……野本尚美 8
- ・栄養バランスってなに？みそ汁を作りながら考えてみよう。……………木内貴子 9

## 3. 包括連携協定の自治体との連携事業

- ・福井市との包括的連携事業報告……………増田 翼 10
- ・森田地区との連携事業報告……………入学・地域支援課 11
- ・永平寺町との包括的連携事業報告……………入学・地域支援課 12

## 4. 保育の魅力発信事業

- ……………入学・地域支援課 13

## 5. 地域連携活動報告

- ・坂井市との連携事業……………辻岡和孝 14
- ・シャッターアートプロジェクト……………前田博子、吉村正照 15
- ・福井県におけるアーティスト・イン・レジデンスの活動支援……………吉村正照 16
- ・これからの地域デザインのあり方の模索、研究……………前田博子 17
- ・PR動画作成プロジェクト……………澤崎研究室 18
- ・福井県の味噌とお酢を利用した若年層向けのレシピ開発……………森 恵見 19
- ・観光農園における果実特性を活かした商品開発……………小林恭一 20
- ・「木づかい体験会」への参加について……………香月 拓 22
- ・絵本専門士が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート……………木下由香 23
- ・学びをつなぐ希望のバトンフォーラム2024（幼小接続講座）  
「遊びからはじまる生涯探究社会」……………川崎恵理 24
- ・地域の子どもたちから大人気のイベント「じんあいこどものくに」…幼児教育学科 25

## 6. 図書館の活動報告

- ……………竹下真弓 26

## 7. 子ども相談事業・子育て支援事業

- 令和6年度報告 福井市こども家庭センター分室・アオッサ子育て広場……………安井弘二 28

## 8. 2024年度地域連携活動一覧

- ……………30

## 9. 教員の地域活動一覧

- ……………32

※敬称略

はじめに

## 地域社会との連携の展開、発展を願って

地域連携室長 重村 幹夫

本学園の「仁愛」は仏教經典の「仁愛兼濟」という言葉に依っています。「仁」は限りなく支え合う人間関係、「愛」は人間だけでなく、すべての生命の深甚な相互依存、共生の關係に目覚める敬愛の心を意味しています。この仏教の「生命の尊嚴と連帶」の精神に目覚めることによって自己の立脚点を確立しながら、同時に社会の福祉と発展のために取組もうという意気込みを示す言葉が、「兼ねて済すくう」という言葉です。この「仁愛兼濟」が本学園の基本精神です。

本学は、女子の高等教育機関として1965年に開学以来、現在は生活科学学科と幼児教育学科の2学科となって、本学園の基本精神である「仁愛兼濟」を基に人材の育成を行ってきました。

近年高等教育機関は、学内での教育研究はもちろんですが、地域の諸課題と向き合い、地域と連携して解決することが求められています。東京一極集中、

若年人口の流出、少子高齢化等による地域の衰退、社会の高度複雑化がもたらす様々な問題がますます大きくなっている様に思われます。

本学は「仁愛兼濟」の基本精神のもと、学内での教育研究はもとより、その成果を生かした地域連携活動に積極的に取り組んでまいりました。今年度の本誌SOCIUSでは、そのような地域連携活動を「地域連携活動一覧」としてまとめ掲載しました。その内容は、本学の自主企画である公開講座をはじめ、包括連携協定を結んだ森田地区、福井市、永平寺町との連携事業、未来協働PF推進事業（PBL支援分）、企業・団体と連携した取り組み、講師派遣、出前授業、学生の学外活動等多岐にわたります。本学は小規模な短期大学ではありますが、多くの活動がなされてきたことが改めて確認できました。今後も、教育研究活動の成果を生かした地域連携活動を継続、発展させたい所存です。



「和」、学校法人 福井仁愛学園、平成 25 年

## 公開講座

# 染め物体験

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 前田 博子

【開催日時】 5月30日（木）10：00～11：30  
6月18日（火）14：00～14：30

【会場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 仁愛保育園つばめ組19名

物があふれる時代となり、私たちは物を買っては捨てるを繰り返している。衣服や日用品が消耗品として扱われるようになり、ファッション業界では大きな歪みが生まれている。このことを背景に私たちのものづくりのあり方や物との付き合い方を染め物体験を通して子どもたちと共に考察する。

### Question 1

- わたし／ぼくが作ったもの（染めたもの）は大切にできるだろうか？  
➡ わたし／ぼくが着るTシャツを一人で染める。

### Question 2

- みんなで作ったもの（染めたもの）は大切にできるだろうか？  
➡ 浴衣生地1反をおともだちと一緒に染める。

完成したものを持参すると、子どもたちは嬉しそうに自分の染めたTシャツを着て走り回っていました。中には思った色に染められなくて不安がっていた園児もいましたが、出来上がったTシャツを見るととても嬉しそうでした。

みんなで染めた浴衣生地1反は等分し、各自が持ち帰りました。滲みやすい染料で染めているため、自分の色と他者の色が混ざり合い深みのある色に染まりました。「お弁当の時に使ってるよ」「ママがお弁当をくるんでる」と子どもたちが教えてくれたように各家庭でみんなで染めた布が日常的に使われていました。



反物を染めているところ



Tシャツを染めているところ



Tシャツを染めているところ



「完成したよ」の会

## 公開講座

# 木を使った造形あそびに挑戦してみよう

幼児教育学科 教授 重村 幹夫

【開催日時】 8月6日（火）10：00～11：30

【会場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 8組25名

今年度も「木を使った造形あそび」の公開講座を実施しました。アンケート結果は概ね好評で「…作りたいものが次から次へとわいてくるようで、最初の作品からどんどん違っていきました。」と回答されたものがありました。これは「造形あそび」の本質を良く表しています。この活動には、明確な計画性や完成というものがありません。したがって明確な

終わりもありません。材料や技法に触発された活動の過程における創造性の発揮が重要視されます。場所の関係上参加10組と数が限られているのが難点だと思います。

当日は、公開講座終了後に地元森田地区の「森田探検隊」の「もりたんバスツアー」の一行にも同様の活動を行ってもらいました。この企画は、循環バスで地元森田地区の魅力発見を目的に様々な場所を回るものです。一時間弱と限られた時間での慌ただしい活動ではありましたが、親子の集中した姿が見られました。



公開講座①



森田探検隊のもりたんバスツアー①



公開講座②



森田探検隊のもりたんバスツアー②

## 公開講座

# 木製ロボットとプログラミングで遊ぼう！

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 教授 田中 洋一

【開催日時】 8月10日（土）14：00～15：00

【会 場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 親子7組20名

生活科学学科生活情報デザイン専攻の田中洋一です。2024年8月10日（土）14～15時、木のおもちゃキューベットと一緒に遊びながらプログラミングの基礎を身につける公開講座を開催しました。今回は、2歳から8歳までの7組20名の親子に参加していただきました。また、幼児教育学科1年の朝井さん・竹越さん・浜田さんが学生スタッフとして手伝いました。この3名は、1年前期選択科目「おもちゃ研究」の4回目に、キューベットを用いたプログラミング教育を経験した学生です。プログラミング教材キューベット（プリモトイズ社）は、「直進」「左回転」等の動作を表すブロックをボードにはめ、スイッチを押すと、木製のロボットが指示通りに動き出すおもちゃであり、グッド・トイ2018にも選ばれています。

今回の公開講座は、次のような流れで実施しました。

- ①あいさつ、今日の約束
- ②手遊び「アブラハムの子」
- ③キューベットと仲良くなろう！  
※仕組みを確認する。
- ④キューベットのお話を作ろう！
- ⑤キューベットとクイズをしよう！  
「キューベットは、どこへ行く？」
- ⑥青ブロック（サブブルーチン）を使ってみよう！
- ⑦振り返り

本講座終了後のアンケート（家族ごと）によると、とても満足5件、満足2件であり、感想からも全家族が楽しめたようです。「子どもに、ものごとを考えさせるよい機会になったと思います。」「キューベット

はとてもかわいくて親しみやすく、でも、とても頭を使う楽しい講座でした。」「時間があっという間でした。すごく楽しい時間でした。」等の意見がありました。

学生スタッフの感想は下記のとおりです。

「キューベットを通して、子どもの発達の違いを見ることができた。2歳の小さいお子さんは保護者の方と一緒に動かすのを楽しんでいたが、小学生くらいになると、どうしたら遠くに動かせるのか自分で考えて楽しんでいた。（朝井）」「最初は緊張して、楽しんでもらえるような関わりができるかなと不安でした。しかし、子どもたちの楽しそうな顔を見て緊張がほぐれ、最後まで一緒に楽しく活動することが出来ました。親子と関わる貴重な体験ができて良かったです。（竹越）」「講座を手伝うことで保護者と一緒に楽しむ子どもの様子を知ることができた。保育者と関わる時とは違う様子に少し驚いた。また、子どもだけにいるときとは、私たち保育者の関わり方も違うことに気づいた。（浜田）」

小学校からプログラミング授業が実施される現在、幼児向けのプログラミング遊びは重要だと思います。本講座の参加理由も、プログラミングに興味があった家族が多かったです。今後も継続的に本講座を実施していきたいと考えています。



## 公開講座

# 光で楽しむおもちゃ工作

幼児教育学科 准教授 香月 拓

【開催日時】 8月24日（土）10：00～11：30

【会 場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 親子14組41名

本講座は、科学の芽を育てるおもちゃ作りの一環として、光をテーマに開講しました。当日は全部で3つのおもちゃを作りました。

最初に作ったおもちゃは「かみコップライト」です。懐中電灯と紙コップ、ラップで作るおもちゃで、ラップに描いた絵を照らして遊びました。また、ラップをカラーセロハンに代えることで違った色合いの遊びに発展しました。

2つめは「むげんボックス」です。ダンボールの両側に鏡を貼り付け、合わせ鏡としていろいろなものを無限に映しだして遊びました。

最後は「はこがたパックのスタンドグラス」を作りました。紙を何層にも重ねて作ったはこがたパックの、表面をはがして絵を描くだけのおもちゃですが、中から懐中電灯で照らすとまるでスタンドグラスのように美しく透けて見えます。真っ暗にした講義室には、様々な模様スタンドグラスが光って

ました。

本講座には、本学幼児教育学科1回生の学生が4名お手伝いとして参加してくれました。準備や後片付けだけでなく、おもちゃ作りがスムーズにいくよういろいろな形でサポートしてくれました。

終了後のアンケートによると、受講者の方々は親子で楽しめたようです。

今後も、私たちの生活に関わる何気ない不思議を、おもちゃ工作をとおして感じてもらうような講座を開講していきたいと思います。



むげんボックス



はこがたパックのスタンドグラス

## 公開講座

# 2024年度 幼稚園教諭・保育教諭等キャリアアップ研修

【共催：福井県私立幼稚園・認定こども園協会】

幼児教育学科 准教授 中尾 繁史

幼児教育学科 准教授 増田 翼

幼児教育・保育現場の現状や課題を考え、乳幼児期の教育の充実及び保育者の資質向上を図ることを目的とする研修会の一つとして、2023年度から福井県私立幼稚園・認定こども園協会との共催で実施している「幼稚園教諭・保育教諭等キャリアアップ研修」があります。2024年度も以下の日程・内容で開催しました。

### どうして気になる？

#### ～この子と私のつながりをみつめて～

子どもたちと関わる中で、発達について気になることや、どこことなく違和感を覚えることはありませんか？先生方が日々の保育の中で気がかりに思うことや、不安を感じていることを共有しながら子どもたちの健やかな成長・発達を、チームとして支えるポイントについて学びを深めましょう。

【開催日時】 8月20日（火）14：00～16：30

【講師】 中尾 繁史

【会場】 仁愛女子短期大学

【対象】 保育に興味のある高校生、保育を学んでいる大学生、幼稚園教諭・保育教諭・保育士およびその関係者

【受講料】 無料

#### 〈参加者所感〉

- グループワークを通して先生方の思いや悩み、実際にあったことなど様々聞くことができ、経験年数の浅い自分にとって学びの機会となった。
- 情報共有の大切さを改めて感じた。
- 研修内容を自分なりに解釈しながら園でできる支

援を考えたいと思う。

- 違和感の伝え方、子どもの姿の共有などグループで方法を共有できたことで共感・発見できたことがありとても良い機会となった。
- 園での様子など、保護者に早く伝えなければと焦る思いがあったが、保護者の気持ち優先で考えていきたいと思った。

#### 〈担当者所感〉

様々な経験年数の先生方がご参加されました。今回はグループでの話し合いを中心とした研修にしたこと、日頃のふとした悩みなども共感できてよかったとのご意見をたくさん頂きました。

### 参加者みんなで、お店屋さんごっこします！

#### ～遊び込んで、気づくこと～

研修当日のグループ作業を通じて、それぞれのお店屋さんを開業します。もちろん、参加者同士がお客さんになって、お買い物も楽しめます。こうした活動と並行して、とある場面で子どもたちならばどんなことを考えたり、何が必要だと感じたりするのか、などお店屋さんごっこでの「学び」について考察していきましょう。

【開催日時】 8月22日（木）14：00～16：30

【講師】 増田 翼

【会場】 仁愛女子短期大学

【対象】 保育に興味のある高校生、保育を学んでいる大学生、幼稚園教諭・保育教諭・保育士およびその関係者

【受講料】 無料



## 公開講座

# 福井の食を知る③「ふくい伝統野菜」～花らっきょう漬作り体験～

生活科学学科 食物栄養専攻 教授 小林 恭一

【開催日時】 8月31日（土）10：30～12：00

【会 場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 9組14名

豊かな自然に恵まれる福井県には、米、麦、ソバ、ウメ、ラッキョウ、カニなど、里・山・海の幸すべてが豊富に揃っています。このような豊かな福井の食の魅力について学ぶ企画として「福井の食を知る」と題した公開講座を開催しています。歴史や文化、栄養や健康維持に役立つ機能、おいしさなど、知ってるようで案外知らないものです。そこに関わった先人達の努力も忘れてはなりません。



今回取り上げたのは「福井の伝統野菜」。全国各地には、その土地固有の希少な在来種からなる伝統野菜が数多く存在します。勝山水菜、上庄さといも、三年子らっきょ、木田ちそ、河内赤かぶ等々、福井にも、その地域でしか味わえない「伝統野菜」が多く残っています。これらは、地域で大切に守られ、世代を超えて伝えられてきました。今回はそんな「ふくいの伝統野菜」を取り上げ、その魅力について紹介いたしました。また、参加した皆さんに、三里浜特産の伝統野菜「三年子らっきょ」を使って甘酢漬作りを体験していただきました。

講義室では、福井の伝統野菜の種類や、栄養成分、栽培方法などについて解説いたしました。福井には

少なくともカブだけでも6種、ナスは5種、ツケナ4種、ウリ2種、ネギ2種、その他5種と、バラエティーに富んでおり、京野菜や加賀野菜に決して劣りません。ですが、中には生産者が一人だけで風前の灯となっているものもあります。その灯を消さないためにも、一人でも多くの方に福井の伝統野菜の良さを知っていただきたいと願っております。



食品加工実習室に移動して、甘酢漬作り体験に挑戦していただきました。

事前の下漬け塩抜きした小粒のラッキョウをガラス瓶に詰め、レモンの輪切りやトウガラシ、甘酢液を加え、蓋をした後、低温加熱殺菌、冷却して仕上げ持ち帰っていただきました。ラッキョウは味がなじむのに時間がかかるため美味しく食べるには一か月くらい待たなければなりません、「待ちきれない」とおっしゃる方もいらっしゃいました。



## 公開講座

# Autumn English Camp – 自然の中で英語を学ぼう！ –

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 野本 尚美

【開催日時】 11月16日（土） 9：30～12：00

【会 場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 小学生親子 8組20名

【協 力】 福井県キャンプ協会（講師派遣等）

【内 容】 ・英語カルタ  
・英語の歌とリズム遊び  
（Twinkle Twinkle Little Star）  
・Catchゲーム  
・Camp Cooking体験（カートンドッグ作り）  
・英語でジェスチャーゲーム

英語とキャンプを組み合わせた公開講座「Autumn English Camp – 自然の中で英語を学ぼう！ –」を今年度も開催させていただきました。本学園職員でもあり福井県キャンプ協会副会長でもある山田浩隆さんと仁愛大学講師のマイケル・クズィフ先生にもご協力いただき、様々なゲームやプチキャンプ体験を通して英語を学んでもらいました。講座の概要は以下の通りです。

当日は朝からよく晴れて絶好のキャンプ日和となりました。まずは学生スタッフが作成したポスターサイズの大きなカルタで、キャンプや自然、秋の食べ物に関する英単語（tent・forest・mushroomなど）を学んでいただき、その後、外に出てみんなで英語カルタ大会を行いました。1回目は学生たちが読み手とな

り参加者にカルタを取っていただきましたが、2回目は子どもたちにも読み手となってもらい、大きな声で英単語を言ってもらうことができました。次に全員で輪になって「Twinkle Twinkle Little Star」のリズム遊びやCatchゲームを楽しみました。その後、休憩を挟んでカートンドッグ作りを体験しました。カートンドッグとは、アルミホイルで包んだホットドッグを牛乳パックに入れて作るキャンプ料理です。薪やコンロなどは一切使わず、牛乳パックだけを燃やして作ることができるので、初めてのキャンプ体験にはぴったりの簡単アウトドアクッキングです。牛乳パックに火をつけてから10分ほどで完成し、みんなでおいしくいただきました。

参加者の方からは「簡単にアウトドア体験ができて楽しかった。」「牛乳パックでホットドッグ作りは初めてだったので、とても新鮮で良かったです。身近なものの英単語もたくさん出てきてためになりました。」「英語を楽しく学べて良かった。」「などのご感想をいただきました。今後も親子で楽しく学べる英語の講座を企画したいと思います。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



カートンドッグを焼いている様子



学生たちが英語カルタの英単語を教えている様子



学生が作成した英語カルタ



英語カルタをしている様子

## 公開講座

# 栄養バランスってなに？ みそ汁を作りながら考えてみよう。

生活科学学科 食物栄養専攻 講師 木内 貴子

【開催日時】 11月30日（土）10：00～12：30

【会 場】 仁愛女子短期大学

【参加者数】 5組14名

健やかな毎日を送るために、「バランスの良い食事」が大切であることは広く認識されています。しかし、いざ実践してみようと思うと難しく感じたり、「そもそも栄養バランスの良い食事とは何だろう…」と悩んだりすることも多いのではないのでしょうか。そこで本講座では、小学生を対象としたミニ料理教室を開催し、家庭料理の定番であるみそ汁を教材に、参加されたご家族と一緒に食事のバランスを整える方法について考えていただきました。

はじめに、バランスを整えるための要素について押さえました。食品に含まれる栄養素の働き、色合いや味付け、調理の仕方など確認することがたくさんあります。子どもたちには、学校や家庭で教わったことも思い出しつつ、「偏る」とはどういうことなのかを意識してもらいながら、チェック項目について確認しました。

続いて、この日の主役であるみそ汁のレシピとポイントについて簡単に説明をしました。使用した食材は、冷蔵庫にありそうな一般的なもののばかりです。今回は家族単位での調理ということもあり、切り方や柔らかさについては各ご家庭にお任せしました。

自分自身の好みや小さな兄弟姉妹への配慮など、親子で相談し、会話を楽しみながら進めていただけたようです。

講座の最後は、試食と振り返りです。自分で作った料理のバランスを、項目に沿ってチェックします。今回、足りなかったものは何か、足りない場合はどうすれば良いかを考え、次の食事作りの手掛かりにさせていただきました。

未就学児から小学校高学年までと幅広い年齢層でしたが、皆さん、終始集中して取り組んでおられました。保護者からは、「普段はおみそ汁を残すが、おかわりまで飲み干してびっくりした」との声もあり、試食も楽しんでいただけたようです。お料理自体は簡単なものでしたが「ゆったりした中で一緒に食事作りができ嬉しかった」、「実際に作ることでより内容を実感することができた」などの感想をいただきました。本講座が、食事のバランス考えるきっかけの一つとなれば、とても嬉しく思います。



福井市との包括的連携事業報告

# 2024年度 保育研究合同発表会

(福井市・仁愛女子短期大学幼児教育学科 合同発表会)

幼児教育学科 准教授 増田 翼

2019年度から開始された「保育研究合同発表会」も、2024年度で6回目を迎えました。この発表会は、包括連携協定を結んでいる福井市との協働による開催で、学生の学修成果と現場保育者の研究成果を互いに発表し合い、学びを深める場として位置づけられています。2024年度は、コロナ禍後に定着した「対面発表」および「Web上（YouTubeチャンネル）動画公開」の二本立てによって学修成果・研究成果を互いに共有し合いました。2024年度の実施内容の詳細は以下の通りです。

## YouTubeによる学修成果・研究成果発表

【公開期間】 1月24日（金）～2月12日（水）

### 【内 容】

福井市および仁愛女子短期大学からのメッセージ  
福井市保育園・こども園・幼稚園の研究成果と課題発表  
仁愛女子短期大学幼児教育学科2回生「保育総合ゼミナール」学修成果発表

### 【視聴対象者】

福井市公私立園保育者、仁愛女子短期大学幼児教育学科1・2回生、仁愛女子短期大学入学予定者（高校3年生：入学前教育）

その他、福井県内現場保育者、行政関係者、保育者養成校教職員など

## 対面開催による

### 「保育総合ゼミナール：学修成果発表会」

【日 時】 1月25日（土）12：45～16：00

【場 所】 仁愛女子短期大学

【内 容】 「ポスターセッション」および「全体会」

【参 加 者】 福井市保育園・こども園・幼稚園保育関係者、仁愛女子短期大学幼児教育学科2回生

今年度は、「ポスターセッション」をメインに学生の学修成果発表を行ったことで、現場保育者の方々から様々なご指摘、ご意見、ご感想などを頂戴することができました。また、福井市保育園・こども園・幼稚園の先生方の研究内容も拝見することができ、間もなく就職を控える2回生にとって貴重な機会となりました。後半の「全体会」では、現場の先生方と一緒に保育に関する学びを深めることができました。以下に、対面開催による学修成果発表会（図1）、全体会（図2）の様子を掲載しておきます。



図1 保育総合ゼミナール学修成果発表会



図2 全体会

# 森田地区との連携事業報告

総合学務センター 入学・地域支援課

森田地区まちづくり協議会との協定に基づいて、今年度も相互に連携・協力して様々な事業を行いました。

## ハピラインふくい森田駅構内の 夢ギャラリー森田へ作品等展示

- 2024年5月 入学・地域支援課
- 2024年7月 附属幼稚園・仁愛保育園・幼児教育学科
- 2024年9月 食物栄養専攻
- 2024年10月 生活情報デザイン専攻
- 2025年1月 附属図書館
- 2025年3月 幼児教育学科

### ●附属幼稚園・仁愛保育園・幼児教育学科（7月）

#### 『恐竜の森プロジェクト』

附属幼稚園と仁愛保育園の年長組の園児、そして、仁愛女子短期大学幼児教育学科の学生が連携し、展示に向けて一緒に制作活動などを行いました。三者が連携して展示を行うのは初めての試みです。



### ●生活情報デザイン専攻（10月）

#### 『卒業研究 NANANATI -オリジナルキャラクターの作成と価値基準の模索-』

研究活動の一環として、オリジナルキャラクターの展示と、ステッカーを使ったお気に入り投票ガチャガチャを設置。「物品取引におけるコミュニケーション」と「金銭を得ること



以外の価値」について調査・検証を行いました。

### もりのわフェスタ×文化祭へ参加

10月6日（日）、森田地区で開催された『もりのわフェスタ×文化祭』に生活科学学科の学生2グループと美術サークルが出店や展示を行いました。

生活情報デザイン専攻からは、NANANATIさん（学生）がキーホルダーやステッカーなどのオリジナルグッズショップを出店。食物栄養専攻からは、味噌入りぜんざいの開発を進めている学生が米五のみそを使用したぜんざいを出店しました。また、美術サークルは絵画の作品展示を行いました。学生たちの活動を広く知っていただくことができ、学生たちにとって学びの多い、貴重な経験になりました。



### もりた駅ナカ チャレンジショップイベント 『えきなかまーけっと』への参加

11月24日（日）、ハピラインふくい森田駅で開催された『えきなかまーけっと』に生活情報デザイン専攻の学生が「J-shop」を出店。キャンドルすくい、手作りアクセサリーの販売、ペット似顔絵描きを行いました。学生たちは、まちづくりについて学ぶコミュニティデザイン論という授業を受講。実際にまちづくり活動に参画し、学びを深めることができました。

# 永平寺町との包括的連携事業報告

総合学務センター 入学・地域支援課

永平寺町との協定に基づいて、今年度も相互に連携・協力して様々な事業を行いました。

## ●気になる子への関わり方（園巡回）

【内容】子どもの見方、支援の方法等

【講師】幼児教育学科 准教授 中尾 繁史

【開催日】

- ・なかよし幼児園  
6月3日（月）・10月21日（月）
- ・吉野幼稚園  
6月10日（月）・12月2日（月）
- ・志比北幼児園  
6月17日（月）・10月28日（月）
- ・御陵幼児園  
6月24日（月）・12月9日（月）
- ・上志比幼児園  
7月1日（月）・11月11日（月）
- ・志比南幼児園  
7月8日（月）・1月20日（月）
- ・志比幼児園  
7月29日（月）・11月18日（月）
- ・東幼児園  
8月5日（月）・2月17日（月）

## ●不適切な保育防止のためのガイドライン作成

全国で相次ぐ不適切な保育を防ぐため、包括連携協定を結んでいる永平寺町と幼児教育学科が1年かけて、園児への適切な接し方などをまとめた独自のガイドラインを作成し、町内すべての保育施設に配られました。ガイドラインでは、良くない例や改善点などを挙げて解説し、不適切な保育が疑われる場合の対応について、手順が分かりやすくまとめられています。こうしたガイドラインを作成したのは県内では永平寺町が初めてで、5月に2回、幼児教育学科教員が、研修会「子どもの人権を意識した保育体制」を行いました。（下記参照）

## ●保育の資質向上研修会

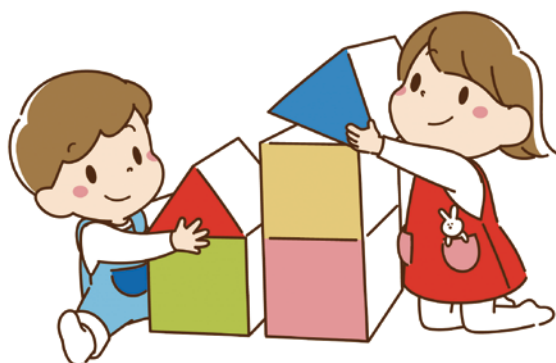
【テーマ】子どもの人権を意識した保育体制について

【講師】幼児教育学科 准教授 増田 翼

【開催日】1回目 5月16日（木）

2回目 5月30日（木）

【会場】永平寺町役場



# 保育の魅力発信事業

総合学務センター 入学・地域支援課

本学では、中学校や高校、保育現場と連携して、保育者や保育現場の魅力を発信する活動を行っています。保育者の仕事を体験する「保育現場体験ツアー」や、高校生が各自で保育に関するテーマを設定し探究活動を行う「保育の課題探究」など、キャンパスに隣接する仁愛女子短期大学附属幼稚園や仁愛保育園で実際に子どもたちや保育者と交流しながら開催しています。本学の充実した学習環境を活用して、将来の福井の保育を担う人材となる中学生や高校生に、「保育」への興味・関心や学びを深めてもらう機会を提供しています。

## ●保育現場体験ツアー

仁愛女子短期大学附属幼稚園で、高校生が「幼稚園の先生1日体験」をしました。さまざまな遊びで子どもたちと楽しく過ごしたり、園児が降園した後は幼稚園の先生の仕事を一緒に体験したりと、高校生に幼稚園の先生の魅力を感じてもらいました。

8月1日（木）参加人数41名

12月25日（水）参加人数36名



## ●保育の課題探究

保育に関心を持つ高校生が参加し、グループで一つの課題に取り組んだり、個人で興味のあるテーマを調べたりと、さまざまなやり方で探究活動を実施しました。実際に仁愛保育園に行き、子どもたちの様子を観察して情報収集し、本学教員のアドバイスを受けながら、理解を深めました。最後に探究の

成果をスライドにまとめ、発表をしました。

8月2日（金）参加人数11名

12月26日（木）参加人数12名



## ●高校個別の「保育現場体験」

高校生が高校からバスで本学に来学し、附属幼稚園での保育体験や幼児教育学科の授業体験、ランチ体験などを体験しました。

6月14日（金）啓新高校

9月25日（水）坂井高校



## ●福井県で保育者を目指す学生応援！PROJECTがスタート

将来、福井県内で保育者を目指す学生を応援するため、「保育特別奨学生」制度と「通学サポート」制度がスタートしました。詳しくはホームページをご覧ください。

特設 web ページ



## 地域連携活動報告

# 坂井市との連携事業

【共催：坂井市文化課・丸岡古城まつり実行委員会】  
丸岡城天守を国宝にする市民の会

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 辻岡 和孝

【開催日時】・丸岡古城まつり出店 10月13日（日）  
・デジタルアート上映 8月24日（土）、  
12月7日（土）

【会場】・丸岡城・霞ヶ城公園ふれあい広場周辺  
・丸岡バスターミナル交流センター

坂井市では様々なイベントが開催されています。その中でも2024年は丸岡藩誕生400周年ということもあり、丸岡城を中心とした様々な催しが企画されていました。

2024年5月に坂井市文化課との打ち合わせの機会に恵まれ、様々な企画に参加させていただくことになりました。その中で、「丸岡古城まつりでの缶バッジワークショップ」、「丸岡バスターミナル交流センターでのデジタルアート上映」について紹介させていただきます。

丸岡古城まつりでの缶バッジワークショップでは、「思い出に残る世界に一つだけの缶バッジ」をコンセプトに、イベント参加者に対し、撮った写真や、描いたイラストをその場で缶バッジにして販売するというものです。参加者は県外の方も多くおられます。缶バッジ作成中に学生との会話を通じて、地域の魅力についても同時に発信でき、成果のある活動ができました。1日のみの開催でしたが、69個の缶バッジ

を販売することができました。

また、丸岡バスターミナル交流センターでは定期的にイベントが開催されています。そのイベント内でデジタルアートの上映を行う機会を頂きました。上映内容は、プログラミングの講義で作成したデジタルアートとゼミで作成したデジタル絵本「もあのきもち」を上映しました。参加した学生の意見として、「イベントへの一連の活動を通じて、準備段階である会場設営やリハーサルがいかに大事か」など様々なことを得たようです。

その他、坂井市龍翔博物館のPR動画の制作、坂井市民文化祭のポスター作成等、坂井市文化課の皆様のご協力の元、たくさんの活動に恵まれました。この場を借りてお礼申し上げます。



丸岡古城まつりでの  
缶バッジワークショップ



丸岡バスターミナル交流センターでのデジタルアート上映



丸岡古城まつりでの缶バッジワークショップ

# 地域連携活動報告

## シャッターアートプロジェクト

### 【連携団体等：福井市少年自然の家】

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 前田 博子  
生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 吉村 正照

【開催日時】 10月20日（日） 8：30～12：00

【会 場】 福井市少年自然の家

【参加者数】 のべ81名

福井市少年自然の家から地元の子どもたちと本学の学生とで、炊さん場のシャッターに絵を描いてほしいとの依頼があり、前田ゼミ、吉村ゼミ合同でシャッターアートプロジェクトを実施した。

#### ●事前調査（7月10日）

前田ゼミ10人と吉村ゼミ8人の合計18人で、福井市少年自然の家に宿泊した。施設について詳しく知るために、周辺の探索やバーベキューを体験した。体験したことを踏まえて、デザインのアイデアを出しあった。4つのグループに分かれて、8面のシャッターを「蝶々の成長」・「施設の雰囲気に合うように」をテーマに、統一感のあるデザインを考えた。

#### ●事前練習および下絵（9月10日、9月12日）

#### ●シャッターアートイベント（10月20日）

東郷地区の子どもたち13名が本学学生指導のもと、一緒に制作を行った。シャッターアートの完成後、11月3日に福井市少年自然の家で開催された「わくわく！もぐもぐ♪CAMPUS祭り」にて一般公開された。

本作品は絵の上手、下手ではなく一緒に楽しめた記憶が描かれている。ひとりで描くのもアートだが、みんなで描けるものを一緒に描くのもアートであることを互いに確認し共有することができた。

#### 〈学生感想〉

シャッターアートの制作を専門家の方に頼むのではなく、地元の子供達と学生が共同で制作したことで、利用者が親しみやすいデザインになった。利用者がシャッターアートを通して施設に親しみやすさや愛着を持つことで、思い出に残りやすくなると思う。



福井市少年自然の家、事前調査



シャッターアートイベント



初めてのペンキ練習



シャッターアートイベント

## 地域連携活動報告

# 福井県におけるアーティスト・イン・レジデンスの活動支援

【連携団体等：ふくいArts Center and Residence プロジェクト実行委員会】

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 吉村 正照

【開催日時】 10月5日、10月27日、11月19日

【会場】 えちぜん鉄道永平寺口駅周辺、  
旧永平寺保健センターほか

【参加者数】 のべ17名

アーティストを一定期間招聘して滞在中の活動を支援する事業「アーティスト・イン・レジデンス」が近年注目されています。福井県において開催された「ZEN AIR EIHEIJI 2024」では、本学学生がボランティアスタッフとして参加しました。10月5日に行われた「子ども向けアートワークショップ」では参加する子どもたちとコミュニケーションをとりながらオリジナルハンカチやトートバッグづくりをサポートしました。10月27日に開催された公開制作「トークへの招待」では、作品に登場する人物に

なったほか、受け付け等のボランティアも担当しました。11月19日には成果発表展の2会場を巡るバスツアーを企画し、地域交流から生まれたアート作品を鑑賞しました。

### 【参加学生の感想】

- 地元についてさらに知れる良い機会だった。
- 様々な人のアートや考え方に触れて、新しい世界を少し知ることができておもしろかったです。
- 海外の人が福井に来て、魅力を感じてくれているのありがたいと思った。

※本事業は未来協働プラットフォームふくい推進事業の「福井版PBL支援分」に採択された事業です。



ワークショップの様子



公開制作の様子（写真提供：ZEN AIR 事務局）



通訳の様子



ツアーの様子（旧永平寺保健センター）

# これからの地域デザインのあり方の模索、研究

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 准教授 前田 博子

【会 場】 ヨリバ、RENEW各会場、  
仁愛女子短期大学

- 1 地域デザインについての調査、研究（9月18日 本学）
- 2 地域ケア企業訪問（9月19日 ヨリバ）
- 3 RENEWへの参加、工房体験  
（11月1日、2日、3日 越前鯖江）
- 4 センパイ（本学卒業生）との意見交換会  
（9月24日、25日 本学）  
地域デザインを体験した上でものづくり産業と  
視覚デザインとの関わり、地域イベントへの参  
画についての講演を聴講。のちに意見交換。
- 5 RENEWプロデューサーとの意見交換会（1月28日本学）
- 6 報告会の実施（1月10日 本学）
- 7 レポート「主体的に地域創生に参加する私の方法」  
提出

本事業の目的は私たちの暮らしを豊かにするためのデザインには仕掛けがあることを知ることから始まっている。「福井には何もない」と言いがちな学生たちはRENEWを体験し、福井でつくられる工芸品を知る機会となった。参加した学生の多くは「工芸=古臭いと思っていた」が「福井ではおしゃれなものづくりがある」と体験を終えた後に述べている。RENEW

を体験し終えてからは別の地域創生イベントに参加している学生や『d design travel 福井号』に掲載されている店などを見学している学生が増えた。余暇の使い方が県外へ向いていたが県内で楽しむ方法を見つけている。地域が工芸産業を介して活性化していく様子を学生自身が体感し、知らなかったことを知ることによって地域産業への参加の仕方が見出しやすくなった。

また地域ケアが仕組みのデザインとして加わっていることが考察できたため、地域の活性化の新しい選択肢を増やすことができた。また、女性ならではの働き方をも模索できた。

※本事業は未来協働プラットフォームふくい推進事業の「福井版PBL支援分」に採択された事業です。



前田桃子氏（本学卒業生）によるワークショップ



加藤瑞穂氏（ヨリバ プロデューサー）による講義



新山直広氏（RENEW プロデューサー）との意見交換会

## 地域連携活動報告

# PR動画作成プロジェクト

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 澤崎研究室

### 県外で活躍する福井県企業の魅力を 動画で発信するプロジェクト

県外で活躍する福井の企業を通して福井の魅力を再発見する活動です。今年度は増田さんをはじめ3人の学生が参加し「福井新聞社東京支社」「オールコネクト東京支店」「ふくいアンテナショップ291」を取材。その内容を動画にして配信しました。

#### 【参加学生の感想】

福井の外に出て働く方々から福井への想いを聞いたことも大きな収穫になったと思います。また、今まで知らなかった福井の魅力に触れることができ、地元福井への愛着も強くなりました。（増田さん）

「技能士」のPR動画制作で一足早く「仕事」を体験  
「技能士」とは、さまざまな仕事の技能に関する国家資格。今回は福井県技能士会連合会からの依頼に基づき、澤崎ゼミの学生が連合会に所属する2団体のPR動画を作成。参加した学生は、実際の仕事さながらの貴重な経験を積むことができました。


#### 【参加学生の感想】

人と一緒に仕事をするうえで特に重要なことは、相手の考えを理解することと、そのためのコミュニケーション力だと感じました。社会に出てからもその意識を大切にして仕事に取り組もうと思います。（池田さん）

 **学生が取材-東京で活躍する福井を探せ!**  
Finding Fukui in Tokyo 2024 YouTube動画

- 福井新聞社 東京支社
- オールコネクト東京支店
- ふくいアンテナショップ291



 **福井県技能士連合会連携プロジェクト**  
YouTube動画

- 福井県板硝子商協同組合
- 福井県和裁技能士会



※本事業は未来協働プラットフォームふくい推進事業の「福井版PBL支援分」に採択された事業です。

# 福井県の味噌とお酢を利用した若年層向けのレシピ開発

生活科学学科 食物栄養専攻 講師 森 恵見

日本全国で行われている家計調査によると近年味噌、お酢の消費量の減少が問題とされています。また若年層に至っては、ファストフードの進出により欧米の味が好まれ、その影響により味噌やお酢などの発酵食品の風味を生かした味に対して苦手意識を持つ者も増えてきており、興味関心の低さも見受けられます。そこで、学生ならではの発想で、米五さんととば屋酢店さんご協力のもと、味噌とお酢を使用したレシピや商品を開発。若年層に人気の料理×発酵食品のレシピ開発を行いました。

4月からゼミ活動が始まり、個人でmisoraカフェに行ったり、企業研究を行った学生もおり、レシピ開発に向けた計画は、非常にいいスタートでした。迷っていたグループもありましたが、米五の味噌を使用した“ぜんざい”と“ドーナツ”、とば屋酢店の酢を使用した“スムージー”を完成することができました。完成するまでに、西洋菓子倶楽部のパティシエの方に試食していただき、より良いものになる

ためのコメントもらったり、米五の方にも試食していただきました。完成したものは、もりのわフェスタや仁短祭で販売しました。各グループで、アンケートを取ったりと、自主的に活動ができました。特に、もりのわフェスタでは、生活情報デザイン専攻の学生さんのお店NANANATIさんと一緒に販売しました。また、ぜんざいのイラストを描いてもらい、販売するぜんざいの容器にステッカーを貼り、皆さんから好評をいただきました。

2月に行われた、卒研発表会や企業への報告会では、米五さんから「学祭だけでなく、地域のお祭りにも参加することにより、米五の味噌のアピールには感謝します。ぜんざいにおける、温度の違いによる甘さや味噌の味の強さの違いは、新しい視点で参考になりました。」など言葉をいただき、一年間の集大成になりました。

※本事業は未来協働プラットフォームふくい推進事業の「福井版PBL支援分」に採択された事業です。



西洋菓子倶楽部のパティシエの方に試食していただいている様子



米五の方に試食していただいている様子



もりのわフェスタでぜんざいを販売している様子



仁短祭での様子



卒業研究発表会の様子



企業への報告会の様子

# 観光農園における果実特性を活かした商品開発

【連携団体等：南越前町(株)HINONOMI、南越前町、南条果樹管理組合】

生活科学学科 食物栄養専攻 教授 小林 恭一

【活動期間】 2024年4月～2025年2月

【参加者数】 生活科学学科 食物栄養専攻 2年生 4名  
久保田心胡、徳橋和愛、  
中谷月伊那、中林真穂

## ●プロジェクトの目的

2024年1月にオープンした南越前町の体験農園施設「FRUITFUL GARDENひのの実」ではイチゴハウスに加えブルーベリー、ブドウの農園を備え、通年でフルーツ狩り体験を提供し、園芸農業と観光の振興拠点としての役割を担っている。当園ではイチゴ11品種、ブルーベリー30品種、ブドウ40品種以上が栽培され、栽培する品種が豊富なことが特徴となっているが、多数ある品種の特徴を明らかにし可視化するとともに、その特性を活かした商品作りが課題となっている。

そこで、生活科学学科食物栄養専攻の専門演習、卒業研究の一環として、イチゴを取り上げ、品種の違い、特徴を明らかにし、そのなかから有望な品種を使った新たな商品開発をすすめた。

## ●活動内容

- 1月13日 事業者との事前打ち合わせ
- 4月18日 現地見学、事業者から講義を受ける
- 4月19日～7月20日 事業者試作ジャムの保存試験
- 4月24日～5月24日 イチゴ10品種の官能評価
- 5月17日～7月12日 低糖度いちごソース試作
- 10月3日～10月24日 中間取りまとめ
- 10月30日 卒業研究中間発表会
- 11月14日 ひのの実訪問 事業者との意見交換
- 11月21日～12月19日 いちごペーストの試作
- 1月9日～2月10日 文献調査、研究取りまとめ
- 2月14日 卒業研究発表会
- 2月21日 ひのの実訪問 成果報告会



## ●得られた成果

### ①HINONOMI試作ジャムの保存試験

イチゴ果実に含まれるアントシアニン色素は退色しやすく、試作したジャムは常温では1か月も厳しく、冷蔵（4℃）が良いことがわかった。

### ②イチゴ10品種の官能評価

全体的にひのの実で栽培されたイチゴは、味が濃く、実がしっかりしているが、品種によって、味や香りに大きな違いが見られた。「おいCベリー」、「紅ほっぺ」の評価が高く、事業者の意向もふまえて加工品開発は「紅ほっぺ」を使用することとなった。

### ③低糖度いちごソースの開発

ひのの実のイチゴの色や味の濃厚さを生かしたできるだけ低糖度の加工品として、糖度30を目途にプレザーブスタイルのいちごソースの試作を行い、レシピを完成した。定期的にあくをとること、最初の加熱時、いちごの色素が抜けてから、再び色素が戻るまで十分に煮詰めること、砂糖やレモン果汁を加えたら煮詰めすぎないようにすることで色調よく仕上げることができた。



### ④いちごペーストの開発

ソフトクリームを販売したいから、機械に入るペースト状のいちごソースを作ってほしいとの依頼を受け、ペーストタイプを試作した。保存状態の悪い冷凍イチゴでは、ミキサーにかけたときにさらに退色しやすく、色の悪い冷凍いちごを使用すると、加工品の色も悪くなることがわかった。



### ⑤サトイモといちごソースの組み合わせ

事業者は大野（上庄）でサトイモも栽培しており、サトイモとイチゴは合わないとの見解だった。そこでいちごソースとサトイモを組み合わせたレシピを提案した。マッシュしたサトイモにクリームチーズ、スパイスを加え、いちごソースと添えることで、マッチングを図ることができ高評価を得た。



※本事業は未来協働プラットホームふくい推進事業の「福井版PBL支援分」に採択された事業です。  
関係各位に感謝申し上げます。

# 「木づかい体験会」への参加について

【連携団体等：福井県農林水産部県産材活用課】

幼児教育学科 准教授 香月 拓

【会 場】 えばたこども園、経田こども園、  
玉ノ江こども園

今年度、香月ゼミでは、福井県農林水産部県産材活用課と連携し、ふくいの木を活用した「木づかい体験会」を実施しました。その概要は以下の通りです。

## ● 概 要

将来的なふくいの木の利用者であり、これからの福井県を担っていく未就学児を対象に、本学の学生がこども園等を訪問し、ふくいの木で作られた遊具や玩具を通じた触れ合いの中で、ふくいの木の良いところを伝える取組み。

## ● こども園での木づかい運動の実施内容

ふくいの木を使用したコマ作り（香月ゼミ）

全3回

（えばたこども園、経田こども園、玉ノ江こども園）

今年度で5年目の活動になります。実施した園では、毎回熱心にやすりをかけたり、色を塗ったり、夢中で遊びこむ子どもたちの姿がありました。また、やすりをかける前と後の手触りやにおいの違いを感

じるなど、五感を通して自然を感じる様子が印象的でした。

最後に「木づかい体験会」に参加した学生の感想を掲載します。

- 3～5歳児に活動を行ったが、紙やすりのかけ方やコマの回し方など、それぞれに違いが見られて楽しかった。
- 自分自身もあまり木のおもちゃになじみがなかったが、この活動を通して、木の触った感覚や匂いなどを肌で感じる事ができたのでよかった。
- 3歳児は、自分のコマを製作したことで回せなくても楽しんでいる様子が見られた



## 地域連携活動報告

# 絵本専門士が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート

【連携団体等：(公財)福井県文化振興事業団 他】

幼児教育学科 教授 木下 由香

【開催日】12月1日(日)

【会場】ハーモニーホールふくい小ホール

【参加者数】幼児教育学科木下ゼミ生 8名

近年、私自身が公民館などでささやかに取り組んできた絵本とピアノ演奏のコラボ活動を、ハーモニーホールという素晴らしい会場で開催したい、という熱い思いで企画を持込んだところ、(公財)福井県文化振興事業団の主催事業として採用していただきました。「学生参加」「多世代参加」「多ジャンルとのコラボレーション」など、ハーモニーホールの課題解決につながるたくさんの要素を含んでいることが採用のポイントだとお伺いし、大変嬉しかったです。

ホワイエでは、今年度のゼミ生8名がスタンプラリー「音の散歩道」に参画し、2回生の平瀬咲弥さんが『ピーターとおおかみ』のイラストを描いてくれました。

また、「子どもと絵本」の授業にゲストスピーカーとしてご出講いただいている福井県立図書館子ども読書推進室長の田中智美先生、絵本出版社「おむすび舎」代表の霜鳥英梨先生、絵本販売じっぷじっぷの清水祥三先生をはじめ、多くの皆様のお力添えをいただき、盛会のうちに終了することができましたこと、心より感謝申し上げます。

主催：(公財)福井県文化振興事業団

協賛：(株)ウララコミュニケーションズ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：福井県、福井県教育委員会、福井新聞社、

FBC、福井テレビ、FM福井



スタンプラリー「音の散歩道」



ゼミ生が書き下ろしたイラスト



手づくり楽器コーナー



「おこめおこめダンス」を披露したゼミ生

## 地域連携活動報告

# 学びをつなぐ希望のバトンフォーラム2024(幼小接続講座) 「遊びからはじまる生涯探究社会」

【連携団体等：福井県教育庁義務教育課・福井県幼児教育支援センター】

幼児教育学科 講師 川崎 恵理

【開催日時】 11月20日（水）13：00～16：30

【会 場】 福井県生活学習館（ユウ・アイふくい）

【参加者数】 幼児教育学科2回生73名

幼児教育学科では、毎年、福井県幼児教育支援センターにご協力いただき、幼小接続についての授業を行っています。福井県が力を入れている幼小接続に関して、今後保育者になろうとしている学生にもっと身近に感じてほしいと願い、県が主催する「幼児教育フォーラム」に参加しました。

これまで、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の関係者、行政関係・教育センター関係者、大学

関係者で開催されていたフォーラムに養成校の学生が参加するのは初めての試みでしたが、今後の幼児教育の担い手として温かく迎えていただきました。ポスターセッション、講演会、グループ協議に参加する中で、学生は、緊張している様子は見られたものの、自分なりの言葉で感じたことを伝え、学びを深める機会となりました。

### 【学生の感想より】

- 貴重な経験で、実際のリアルな先生の意見などを聞くことができとてもいい勉強になりました。
- 来年から働くときに役立つことを学びました。
- 最初はグループワークで何をすることがわからず、ドキドキしていたけれど、実際はとてもためになり、保育者や小学校の先生からの話を身近で聞いてとても楽しかったし参加できてよかったです。
- 今まで話したことのない小学校の先生などとお話することができてとても楽しかったです。実際に小学校との連携の話聞きどのようなことが小学校で必要かを知ることができました。

改良点はまだまだたくさんありますが、今後も、県と協力しながら続けていきたい取組の一つだと感じています。



各市町の取組に熱心に見入る学生



想像を超える参加者に最初は驚きを隠せず



自分なりの言葉で思いを一生懸命伝える学生

## 地域連携活動報告

# 地域の子どもたちから大人気のイベント 「じんあいこどものくに」

幼児教育学科

【日 時】 10月19日（土）10：00～15：00

【場 所】 仁愛女子短期大学

仁愛女子短期大学幼児教育学科では、2009年度から、10月に開催される仁短祭の一環として、「じんあいこどものくに」を実施しています。1・2回生計5クラスで子ども対象の出し物を企画し、各クラスの実行委員を中心に、自分たちで企画した出し物の中で地域の子どもたちと触れ合い、一緒に楽しく遊ぶ体験を通して、学生の保育実践力を育成することを目的としています。

5月のMH（ミーティングアワー）から各クラス

で子ども達と触れ合う企画の話し合いを始めました。当日は、たくさんのお子さんと保護者の方に参加していただき、とても楽しい一日となりました。

（来場者：子ども293名、大人205名 計498名）

各クラスの内容は次の通りです。

1-A あきだ！まつりだ！ポンポコポン！

1-B ハロウィンワールド

2-A どきどきひろば

2-B こころろランド

2-C とりっくおあとうろうよ！

～おかしなしゃんやさん～



# 図書館の活動報告

附属図書館 竹下 真弓

図書館では、新たな本や知識との出会いの場として、多彩な企画や展示を行っている。今回は、2024年度に実施した11回の中から、主な展示・企画を紹介する。

## ●2024年4月

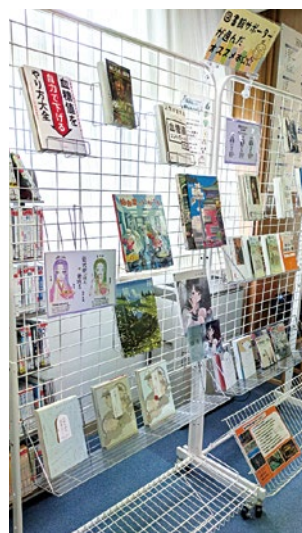
### 「本屋大賞受賞作品展」

2024年本屋大賞受賞作『成瀬は天下を取りに行く』宮島未奈著をはじめ、候補作品あわせて10冊を展示した。



## ●2024年9月「図書館サポーター選書本」

後期の授業開始に合わせ、図書館サポーター8名が選書した本など28点と手作りのPOPを添えて展示した。



## ●2024年5月

### 「グリーン、グリーン！」

ぽかぽか陽気に誘われて思わず外に出たくなる季節。本学が所蔵する「みどりの装丁」、「書名にみどりがある」、「みどりを食す」、「みどりを知る」をテーマに緑を感じる本38冊を展示した。



## ●2024年9-10月「言葉に、出逢う。」

日常の風景や特別な瞬間を切り取った詩・短歌・俳句・川柳の本を27冊展示した。心に響く言葉を見つけていただけたらという思いを込めて紹介した。

## ●2024年7-8月

### 「アチアチな夏がきた！」

暑い夏にぴったりの小説や絵本、料理本を34冊展示した。



●2024年11月「福井出身の作家 宮下奈都特集」

2016年本屋大賞を受賞した『羊と銅の森』ほか、『よろこびの歌』『太陽の Pasta、豆のスープ』など瑞々しい感性と綿密な心理描写で定評のある小説のほか、エッセイ等をあわせて35冊展示した。

その中には、宮下奈都氏からの直筆サイン&メッセージ入りの本もあり、学生さんが作者からのメッセージを身近に感じられる貴重な機会となった。



●2025年1月

「仁短図書館プレゼンツおすすめしたい本」

本学の図書館長をはじめ、図書館職員がみなさんにおすすめしたい本を58冊展示した。様々なジャンルのおすすめ図書を紹介することが出来た。



●2025年2月「ネコ特集」

2月22日は「猫の日」ということで、ネコ関連の図書や絵本を35冊展示した。この企画を実施し、猫に関する出版物の多さ、また学生への貸し出しが多いことで、ネコ人気を再確認出来た。



●2024年12月「第12回青空文庫表紙コンテスト」

Webサイト「青空文庫」には著作権の切れた古い文学作品が掲載されている。

その中から3作品（今年は、『葬られたる秘密』・『二ひきの蛙』・『ラプンツェル』）を図書館が選び、作品の持つ魅力を一層際立たせる表紙を選ぶコンテストを実施した。

受賞作品はどれも個性豊かで、作品の魅力を見事に表現した素晴らしい表紙だった。



※今年度優秀賞受賞作

それぞれの企画で展示した本の詳細等は、附属図書館HPへ。



図書館HPのQRコード

## 令和6年度報告

# 福井市こども家庭センター分室・アオッサ子育て広場

室長 安井 弘二

福井市の事業委託「子ども相談事業・子育て支援事業」は令和6年度をもって契約満了となりました。仁愛学園様には、平成19年4月の発足当時から、様々なご支援・ご協力を賜り、職員一同大変感謝しております。特に仁愛短大生の「アオッサ子育て広場」での体験学習や先生方の子育て講座等で様々な工夫をしていただき、子育て親子が大変楽しく過ごせたのが印象的でした。今後、仁愛学園様が益々発展されることを願って、お礼の言葉とさせていただきます。



ブックスタート  
「ママと子の絵本とわらべうたあそび」



親子プログラム  
「ミュージックケア」



親子支援  
「はっぴいず mama」



感染症対策  
「親子で手洗い」

### 【こども家庭センター分室 ～子ども相談～】

こども家庭センター分室では、心理担当職員らが18歳未満の子どもの養育や性格、子育てに関する心配事等の相談に応じました。相談者の多くは、子育て家庭の保護者で、内容は「発育が遅いので心配している」「後片付けができない」「落ち着きがなくじっとしていない」「子どもが言うことをきかず親もイライラする」等でした。育児やしつけについて負担を感じている方や家族関係でストレスを感じ精神的に不安定になっている方も多く、その思いを聴き必要に応じて助言等を行いました。

#### <令和6年度相談対応件数>

子ども相談の件数	内訳：対応方法（件）				開所日数
	電話	面接	訪問	その他	
837件	559	245	2	31	307日

#### <令和6年度相談主訴割合>

養護	障がい	性格行動	不登校	適正	育児しつけ	その他
13.0%	1.3%	30.0%	1.6%	0.3%	22.0%	31.8%

### 【アオッサ子育て広場～福井市地域子育て支援センター～】

アオッサ子育て広場は、開所時間を午前・午後の2部制とし、途中に室内の清掃や除菌を行いました。また、利用者には入室前に健康状態を確認し、手洗いをお願いするとともに、利用者同士が密にならないように声掛けをしていきました。定期的な換気をしながら感染防止

#### <令和6年度利用状況>

総利用者数	保護者数	子ども数	開所日数
			307日

#### <子ども年齢別利用状況（年度比較）>

子ども年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4～6歳児
令和5年度	32%	36%	12%	8%	12%
令和6年度	24%	39%	17%	8%	12%

の徹底を図りました。

またコロナ感染症やインフルエンザ以外に、こども園や保育所等で流行している病気などの情報を掲示し注意喚起しました。



季節の行事「ミニコンサート」



「夏の時期の離乳食の進め方と相談あれこれ」

### アオッサ子育て広場の主な事業

#### <子育て相談>

子育て相談では夜泣きが激しく困る、ミルク（食事）を飲んでくれない、離乳食の作り方やどのくらいの量を与えてよいか分からない、寝返りが上手くできない、歩行や発語が遅いため発達遅れではないか気になる、予

防接種に関することや保育園入園に関する心配事等様々でした。主に保育士が相談を受けますが、相談内容に応じてこども家庭センター分室の臨床心理士と連携しながら保護者と子どもの支援にあたりました。

### 《子育て講座、親子プログラム》

利用者に関心を持ってほしい内容や子育て力を高めってもらうために役立つ内容の話題提供を行いました。

項目	内容
子育て講座(学園連携含む)	・おばあちゃま劇場、えいごであそぼう など
親子講座(ボランティア講師)	・パパといっしょにつくってあそぼう など
季節の行事	・ミニコンサート、まめまきごっこ など
親子プログラム	・ミュージックケア など
親支援事業	・はっぴいすmama、ほっとるーむ はぐはぐ
地域支援活動	・ブックスタート(桜木図書館)



子育て講座「おばあちゃま劇場」 親子講座「パパといっしょにつくってあそぼう」

### 《はっぴいすmama》

転勤などで福井に転入し、地域のことが分からず不安に思っている利用者や、そのことで引きこもりがちな利用者に働きかけ、同様の境遇にある者同士が交流し情報交換する場を設定しました。一昨年度からは市内在住者も加わることで子育てに関する話し合いの他にも耳より情報を豊富に得ることが出来たようです。

参加をきっかけに保護者の交流の輪が広がっています。

### 《ほっとるーむ はぐはぐ》

乳幼児期の子どもをもつ保護者を対象にグループワークを行いました。心理担当職員がファシリテーターとなっており、子育てについて考えていること、感じていることなどを話し合う中で、自分自身について気づきが増え、ストレスが軽減されたといった効果が得られました。

### 《学園連携 子育て講座》

幼児教育等を専門に研究する仁愛女子短期大学の教員を講師に招いて子育て講座を開催しました。また、学生の参加を得ることで、様々な世代が、子育て支援に参加する社会づくりを推進していきたいと考えています。

講座に必要なものは学生らが手作りで準備をしてくれました。3歳位までの子どもが喜ぶわらべうたあそびを調べ、事前に練習を重ねて当日に臨んでくれました。そのような新鮮な感覚を持つ学生らが手遊び等を提供すると、子どもたちは夢中になって楽しんでいました。保護

開催日時	テーマ/講師
5月10日(金) 10:00~10:30	わらべうたあそび 仁愛女子短期大学 坂本流美氏
9月25日(水) 10:00~10:30	えいごであそぼう 仁愛女子短期大学 野本尚美氏
12月21日(土) 13:00~13:30	ミニコンサート 仁愛女子短期大学 木下由香氏
3月19日(水) 10:00~10:30	ミニコンサート 仁愛女子短期大学 坂本流美氏

者からは、「童心にかえり、子どもと一緒に楽しむことができ有意義であった」「ちょっと工夫すれば、楽しい遊びが生み出せることを知り参考になった」等の感想が寄せられました。

### 《体験学習》

仁愛女子短期大学の2回生や中高生が、授業の一環として体験学習を行いました。子ども達は学生が作ったおもちゃで楽しそうに遊んでいました。利用者の方が思わず微笑んでしまうような素敵なエプロンや靴下を着用して場を和ませてくれた方もいました。



### 《子育て支援ボランティア た・ま・ごの会》

過去に福井市とアオッサ子育て広場が協力してボランティア養成講座を開催し受講された方が中心となり、「子育て支援ボランティア た・ま・ごの会」を結成し11年が経過しました。室内の季節の飾り付け、親子活動の下準備、行事のお手伝いなど計36回のべ49名の方々に活動いただきました。



た・ま・ごの会  
「大きくなったねお祝い会」

### 《児童虐待防止普及啓発事業》

国は11月を児童虐待防止月間と定め、期間中に福井市から委託された相談支援事業所「Bumps」が中心となり、県や福井市等の関係機関が「エルパ」でのティッシュ配布、ハピリンホールでのこども家庭庁専門官による虐待防止に関する一般向け講演会等を開催しました。

全国児童相談所での令和5年度児童虐待統計では、総数が22万5500件あまりで過去最高の数値となりました。

国民の児童虐待への関心が高まったことで児童相談所等への通報が増加していますが、今後とも、こどもの命を守り、こどもの最善の利益が図れるよう努力していきたいと思ひます。

## 2024年度 地域連携活動一覧

分 類	講座名・イベント名等	学 科・専 攻	担 当 者
公開講座	染め物体験	情	前田博子
	木を使った造形あそびに挑戦してみよう	幼	重村幹夫
	木製ロボットとプログラミングで遊ぼう！	情	田中洋一
	光で楽しむおもちゃ工作	幼	香月 拓
	どうして気になる？～この子と私のつながりをみつめて～	幼	中尾繁史
	参加者みんなで、お店屋さんごっこします！ ～遊び込んで、気づくこと～	幼	増田 翼
	福井の食を知る③「ふくい伝統野菜」 ～花らっきょう漬作り体験～	食	小林恭一
	Autumn English Camp –自然の中で英語を学ぼう！–	情	野本尚美
	栄養バランスってなに？みそ汁を作りながら考えてみよう。	食	木内貴子
	いっしょに手芸^^	情	前田博子
	「幼教ホームカミングデー」	幼	増田 翼
地域連携活動 学生のゼミ・課外活動等	保育研究合同発表会 (福井市子ども保育課)	幼	増田 翼
	「福井のこどもの未来のために」 ワークショップ (福井市子ども政策課)	入学・地域支援課	
	「ライフデザインカード」を活用した出前講座 (福井市女性活躍促進課)	情	田中洋一
	研究協働事業 (福井市子ども保育課)	幼	増田 翼
	保育カウンセラー派遣事業 (福井市子ども保育課)	幼	中尾繁史
	もりのわフェスタ×文化祭出店 (森田地区)	入学・地域支援課 地域連携室	
	MoRe:Sta.「えきなかまーけっと」出店 (森田地区)	生活科学学科 生活情報デザイン専攻	
	夢ギャラリー森田展示 (森田地区)	入学・地域支援課 地域連携室	
	不適切な保育防ぐ独自のガイドライン作成&研修会 (永平寺町)	幼	中尾繁史・増田 翼
	園巡回 (永平寺町)	幼	中尾繁史
	ふくいの木づかい体験会 (福井県農林水産部県産材活用課)	幼	香月 拓
	「ふくチェーンラジオ」ラジオパーソナリティーで情報発信	情	澤崎敏文
	福井県技能士連合会とのPR動画作成プロジェクト	情	澤崎敏文
	紙と繊維のミライを考えるワークショップ	情	澤崎敏文
	ホームセンターヤマキシPR動画作成	情	澤崎敏文
	ふくい女性財団とのコラボ2024「キャリアカフェで語る未来の自分」	情	澤崎敏文
	デジタルアート「MARUOKAムービーナイト2024」	情	辻岡和孝
	町おこしPR動画制作 (坂井市龍翔博物館の魅力を動画で発信)	情	辻岡和孝
	坂井市民文化祭 ポスターデザイン採用	情	辻岡和孝

分類	講座名・イベント名等	学科・専攻	担当者
地域連携活動 学生のゼミ・課外活動等	丸岡古城まつり「缶バッジ作成ワークショップ」	<span style="color: green;">情</span>	辻岡和孝
	シャッターアートプロジェクト	<span style="color: green;">情</span>	前田博子・吉村正照
	福井県警サイバー防犯ボランティア	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
	アーティストトークイベントのボランティア活動	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
	グッドデザイン賞審査会 学生インターン参加	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
	九頭竜中学校 校章デザイン選定 (福井市学校教育課)	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
	WAKASAアートキャンプ	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
	企画展「はしっこの景色」 【福井県主催「まるまるつながるアートてん まる」関連企画】	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
	福井市市民憲章60周年デザインコンテスト	生活科学学科 生活情報デザイン専攻	
	英語で遊ぼう	<span style="color: green;">情</span>	野本尚美
	森田小学校1年生 授業参観	<span style="color: red;">幼</span>	香月 拓
	北陸技術交流テクノフェア2024	<span style="color: green;">情</span>	澤崎敏文・辻岡和孝
	学びをつなぐ希望のバトンフォーラム2024 (幼小接続講座) 「遊びからはじまる生涯探究社会」	<span style="color: red;">幼</span>	木下由香・川崎恵理
	絵本専門士が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート	<span style="color: red;">幼</span>	木下由香
	AOSSA子育て支援室「ミニコンサート」	<span style="color: red;">幼</span>	木下由香
じんあいこどものくに	幼児教育学科		
未来協働プラットフォーム ふくい推進事業	これからの地域デザインのあり方の模索、研究	<span style="color: green;">情</span>	前田博子
	観光農園における果実特性を活かした商品開発	<span style="color: orange;">食</span>	小林恭一
	Finding Fukui in Tokyo 2024 -北陸新幹線福井開業後の動向- 県外で活躍する福井県企業の魅力を動画で発信するプロジェクト	<span style="color: green;">情</span>	澤崎敏文
	福井県の味噌とお酢を利用した若年層向けのレシピ開発	<span style="color: orange;">食</span>	森 恵見
	福井県におけるアーティスト・イン・レジデンスの活動支援	<span style="color: green;">情</span>	吉村正照
保育の魅力発信事業	保育現場体験 (啓新高校)	入学・地域支援課	
	保育現場体験 (坂井高校)	入学・地域支援課	
	保育現場体験ツアー&保育の課題探究	入学・地域支援課	
国際交流	ネパールとの交流	<span style="color: green;">情</span>	澤崎敏文
	授業「国際理解」で台湾現地研修	<span style="color: green;">情</span>	澤崎敏文
サークル活動	開学記念AHで折った「千羽鶴」福井大学附属病院へ贈呈	子どもとふれあおうサークル	
	敦賀市ミライエにてコスプレイベントを開催	コスプレサークル	
	ケアハウス清水苑で演奏会を開催	ピアノサークル	

## 教員の地域活動一覧

### ●生活科学学科

(専攻別・五十音順)

専門分野	氏名	講演や講座のテーマ・内容など
栄養管理	木内 貴子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの食の問題と栄養</li> <li>●「おいしい」と「健康」は両立できるのか？</li> <li>●「食べる」からはじめるフレイル予防～低栄養予防のための食生活～</li> <li>●管理栄養士国家試験対策リカレント講座「給食経営管理概論」</li> <li>●栄養バランスってなに？みそ汁を作りながら考えてみよう。</li> </ul>
コミュニケーション マーケティング 経営	澤崎 敏文	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果的なプレゼンテーション手法について</li> <li>●地域におけるマーケティングのあり方について</li> <li>●ソーシャルメディアとビジネスの活用</li> <li>●地域ビジネス、企業等におけるマネジメント</li> <li>●企画立案、広報手段について</li> <li>●コミュニケーションのあり方</li> <li>●キャリアデザイン、学びと学習環境等</li> </ul>
教育工学 学習科学	田中 洋一	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロセスエデュケーション</li> <li>●エージェンシー育成のための社会情動的スキル</li> <li>●木製ロボットとプログラミングで遊ぼう！</li> <li>●数理・データサイエンス・AI等教育プログラムの実践事例と今後の課題</li> <li>●ポストコロナ時代のオンライン授業</li> <li>●デジタルバッジとオンライン大学のこれからの対するポテンシャル</li> <li>●正しい情報の集め方と伝え方</li> <li>●入試広報室長として、高校生向けイベントを企画しよう！</li> <li>●同時双方向型オンライン授業の可能性</li> <li>●ネットモラル</li> <li>●ICTを活用した授業設計</li> </ul>
データサイエンス 情報工学	辻岡 和孝	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Pythonを用いたデータサイエンス講座</li> <li>●EXCEL基礎・応用講座</li> <li>●AIチャットボット作成講座</li> <li>●DX導入講座"</li> </ul>
英語教育 第二言語習得論	野本 尚美	<ul style="list-style-type: none"> <li>●洋楽で英語を学ぼう</li> <li>●幼児向け英語教室</li> <li>●小学生向け英語教室</li> <li>●Autumn English Camp - 自然の中で英語を学ぼう！ -</li> </ul>
テキスタイルデザイン	前田 博子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域社会とデザイン・アート「繊維とデザイン」</li> <li>●「ふくい産業」における専門家の授業（坂井高校）</li> <li>●いっしょに手芸</li> <li>●染めもの体験</li> </ul>
UI/UXデザイン	吉村 正照	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラミング講座「形と色のふしぎ」</li> <li>●UI/UXデザインのプロセス</li> <li>●Google フォーム＋スプレッドシートを活用した業務効率化</li> </ul>

● 幼児教育学科

(五十音順)

専門分野	氏名	講演や講座のテーマ・内容など
保育学 保育者養成教育	石川 昭義	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福井県保育士等キャリアアップ研修「マネジメント」(人材育成)</li> <li>● 保育士スキルアップ研修(保育の自己評価と第三者評価)</li> <li>● 東海北陸保育研究大会「福井大会」 (第8分科会:公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割)</li> <li>● 敦賀市研修会(保育の新たな地平―「指針」が映し出す時代とともに―)</li> <li>● 福井プレカレッジ(現代の保育学を探究する)</li> <li>● 京都府保育協会キャリアアップ研修「マネジメント」(実践研究の取組の意義、やり方について)</li> <li>● 近畿ブロック保育研究集会京都大会 (第7分科会:保育の社会化にむけて―保育の営みをいかに社会に発信するか―)</li> <li>● 東海北陸ブロック次世代保育リーダー養成セミナー(次世代育成施策、保育者の養成について)</li> <li>● 石川県保育部会研修(保育士育成における養成校・現場・行政の連携のあり方を考える)</li> </ul>
健康体力学 測定評価学	内田 雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童厚生指導員研修会「ゲーム・運動遊び」</li> <li>● 保育者ワークショップ「昔遊びを楽しもう」</li> <li>● 小学校1、2、3年生が楽しめる室内遊び、昔遊び</li> <li>● ゲーム・昔遊び</li> <li>● 運動遊びをデザインする</li> </ul>
仏教学 仏教保育学 おもちゃ学	香月 拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新人保育者スキルアップ「新聞紙で遊ぼう」</li> <li>● メンタルケア・スペシャリスト養成講座「死生論Ⅰ」</li> <li>● 子育て講座「おもちゃで育む親子のふれあい」</li> <li>● 自分とは何か-お釈迦様のことばに学ぶ-</li> <li>● 人生は楽しいもの? 苦しいもの? -お釈迦様のことばに学ぶ-</li> <li>● 育児講座「発達にあったおもちゃ作り」</li> <li>● 保育に使える手作りおもちゃ・身近な物で作れる玩具</li> <li>● こどもの成長とおもちゃあそび</li> <li>● 光で楽しむおもちゃ工作</li> </ul>
幼児教育 幼小接続	川崎 恵理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遊びの中の学び</li> <li>● 5歳児から1年生というとらえ方</li> <li>● 今求められる保育実践</li> <li>● 今求められる保育教諭のあり方</li> <li>● 幼稚園教育要領解説</li> <li>● 幼児の発達に応じた保育内容教育</li> <li>● 小学校入学にあたって</li> </ul>
音楽教育 ピアノ教育 ピアノ演奏	木下 由香	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 親子のための虹色コンサートin大野「手作り楽器ワークショップとミニコンサート」</li> <li>● ポルタDe' ファツィオリ「ピアノふれあい体験」</li> <li>● 聴いて、見て、動いて楽しむ! 0歳からのクラシックコンサート</li> <li>● いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭</li> <li>● 親子のための虹色コンサート in AOSSA</li> <li>● Fukui Art Baton</li> <li>● 親子で簡単♪手作り楽器を楽しもう!</li> <li>● 越前まなぼう座「親子でわくわく子ども教室」親子と一緒に! 手作り楽器を楽しもう!</li> <li>● ピアノで奏でる絵本の世界</li> <li>● ステージできくはじめてのコンサート</li> <li>● 越前市幼稚園教育研究部夏季研修「リトミック、リズム遊び」</li> <li>● 親子で楽しむピアノと絵本</li> <li>● AOSSA子育て支援室「たのしい音楽あそび」</li> <li>● 小松市ピアノコンクール受賞者の為の「木下由香先生のワンポイントレッスン」</li> <li>● 絵本専門士が贈るピアノと読み聞かせて綴る絵本コンサート</li> <li>● AOSSA子育て支援室「ミニコンサート」</li> <li>● 高校2年生「プロジェクト学習」中間報告会 助言者</li> <li>● AOSSA子育て支援室「いろいろな音を楽しもう」</li> <li>● まちかどコンサート</li> <li>● 手作り楽器ワークショップ</li> </ul>
幼児造形指導法 洋画制作 洋画原書翻訳 明治期日本における 洋画の受容	重村 幹夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明治前期の油絵技法材料について</li> <li>● 造形を通した子どもとの関わり方</li> <li>● 小学校低学年児童が作って遊べる遊具</li> <li>● 幼児の造形や既習能力に応じた造形活動のあり方について</li> <li>● 幼児の主體的な造形活動のために-「造形遊び」を中心に-</li> <li>● 木を使った造形あそびに挑戦してみよう</li> <li>● 廃材などを使った工作</li> <li>● 新聞紙を使った造形あそび</li> <li>● クレヨンで動物を描きましょう</li> <li>● 幼児造形の指導法</li> <li>● 紙コップ等を使った造形あそび</li> <li>● 木材などを使った造形あそび</li> </ul>

専門分野	氏名	講演や講座のテーマ・内容など
児童発達支援 特別支援教育	中尾 繁史	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気になる子への支援教材の作り方</li> <li>● 子どもの『あのね』を引き出す関わり方</li> <li>● 情報共有のための観察と記録の視点</li> <li>● 『気になる子』への対応</li> <li>● どうして気になる？～この子と私のつながりを見つめて～</li> </ul>
日本文学 児童文学 国語科教育	前田 敬子	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育者ワークショップ 書くこと、読むことの保幼小連携</li> <li>● 保幼小接続講座「絵本の世界」</li> <li>● 恋する山川登美子</li> <li>● 歌う金子みすゞ</li> <li>● 伝わる文章の書き方</li> <li>● 絵本や物語に親しむ</li> <li>● 感想文の書き方</li> <li>● 加古里子の絵本</li> </ul>
保育学・教育学 保育・教育思想史 保育・教育方法学 保育者論	増田 翼	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4歳児の育ちについて</li> <li>● 外国籍の子どもや保護者は何に困っているのか</li> <li>● 指導要録 保育要録について</li> <li>● スマホ育児 ちょっとだけでも分かっておきたいこと</li> <li>● 子どもの遊びの理解と支援</li> <li>● 気がかりな子を包み込む集団づくり</li> <li>● 連絡帳の書き方</li> <li>● 保育における環境構成</li> <li>● 5領域 10の姿について</li> <li>● 保幼小連携について</li> <li>● 歌う楽しさの原点にあるものは？</li> <li>● 子どもが対話する保育</li> <li>● 保育で使える動画編集</li> <li>● 「保育ドキュメンテーション」って、どういうこと？</li> <li>● 子どもの姿を捉える、とは言うけれど…</li> <li>● カイコを育ててみよう！</li> <li>● しつけって難しいですよね？令和時代における子どもとの距離感</li> <li>● 参加者みんなで、お店屋さんごっこします！～遊び込んで、気づくこと～</li> <li>● 「保育の楽しさを知る」</li> <li>● パパと子の教室</li> </ul>

## SOCIUS [ソシアス] No.19

2025年3月31日 発行

仁愛女子短期大学 総合学務センター  
入学・地域支援課 地域連携室

〒910-0124 福井市天池町 43-1-1  
TEL.0776-56-1133  
E-mail jissen@jin-ai.ac.jp



## 地域の中で 60 年

仁愛女子短期大学は  
女性の大学等への進学意欲が高まりつつあった1965年に  
地元・森田地区のご協力のもと開学しました。  
開学以来、多くの学生や保護者の皆さま  
地域の皆さまに支えられ  
2025年に開学60周年を迎えます。  
これからも皆さまとのつながりを大切に  
地域に密着した教育・研究活動をさらに推進していきます。

公式キャラクター  
「あいたん」です  
よろしくお願いします



### Profile.

仁短のチアリーダー。自分の未来を切り拓くためにさまざまな挑戦をしている仁短生を応援するのが大好き。

詳しくはこちら！  
60周年記念  
サイト



Hiraku Jintan Project

2025年スタート!! ひらく仁短プロジェクト  
新プロジェクト「HJP」が始まり、これまで以上に地域と連携した活動が充実!



# 仁愛女子短期大学

総合学務センター  
入学・地域支援課 地域連携室